

徳島県立川島中学校  
「学力向上実行プラン」

①「主体的に学び、活動する力を伸ばす授業の確立」  
②「自ら課題を見つけ、解決していく学習の定着」

学力向上推進員 委員 教頭・統括補佐：中村ゆかり 教諭・1学年主任・数学科主任：柴田宗忠  
指導教諭・3学年主任 教諭・2学年主任・社会科主任：中川博之 教諭・理科主任：住吉洋子  
小林文芳 教諭・英語科主任：岡田朋子 教諭・国語科主任：尾嶋麻子  
教諭・教務主任：十川道雄 教諭・進路指導主事：東出 稔

校長 林 博子

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 全国調査で国語科において、漢字の読み書きの正答率が高く、各領域で県・全国平均を上回っている。	学習活動を支える基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけている。	定期テストで5教科の平均が、70点以上に達する生徒の割合が60%以上。			
課題 国語科の慣用句などの語彙力、数学科の一次関数のグラフの読み取りや方程式との関係についての理解に課題がある。	具体的方策(教員の取組) ①辞書(国語・英語)を引く習慣を身につけさせ、語彙力の向上を図る。 ②質問タイム、補充学習の効果的な実施を行う。	取組指標 辞書(国語・英語)を引く習慣が身についたと回答する生徒の割合が70%以上。		評価 次年度における改善事項	

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 個人や班の考えをまとめて文章表現し、相手にわかりやすく伝える手段や方法を身につけてきている。	課題の解決を図るため、習得した知識や技能に基づいた根拠や理由を示し、考えを表現することができる。	「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることが得意である」と回答する生徒の割合が50%以上。			
課題 複数の資料を比較することや、必要な情報を取り出して、自分の考えを文章に書いたり、発表したりすることに課題がある。	具体的方策(教員の取組) ①全ての教科で、根拠を明確にして説明したり、伝え合ったりするためにホワイトボードを活用する場面を設定し、言語活動の充実を図る。 ②読書活動を推進し、表現力と幅広い視野を育成する。	取組指標 ①高校教員や中学校教員による授業を1人2回以上見学し、授業力の向上を図る。 ②年間生徒1人当たりの読書冊数が5冊以上。		評価 次年度における改善事項	

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 様々な体験活動や学校行事において、仲間と協力し、工夫した活動ができる。	①自ら課題を見つけ意欲的に学習したり、人との関わりや様々な学習体験の中から課題を解決したりできる。 ②宿題や提出物が確実にでき、自らの目標に向けて計画的に家庭学習ができる。	「わからないことや疑問に思うことは、自ら調べたり教員に質問したりしている」と回答する生徒の割合が80%以上。			
課題 わからないことや疑問に思うことを、自らの取組により解決しようとする意欲と、自主学習の定着に課題がある。	具体的方策(教員の取組) ①生徒の主体的な活動を授業に多く取り入れる。 ②自主学習ノート「至誠ノート」を使って、主体的・自主的な家庭学習の指導を図る。	取組指標 ①授業の中で、全ての生徒の意欲的な活動を賞賛する。 ②自主学習ノートの提出率が90%以上。		評価	

平成28年度 学力向上ロードマップ

